

CDラジオデジタルレコーダー

CR-BUE50

取扱説明書/保証書

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

安全上のご注意	2
電池(別売り)についての安全上のご注意.....	4
BLUETOOTH®機器について.....	4
使用上のご注意	5

< 使用方法是このページからです >

電源を準備する	6
各部名称	7
時刻を設定する	8
電源を入れる	8
CDを聞く	9
その他の方法でCDを聞く	11
ラジオを聞く.....	14
BLUETOOTH機器を再生する	16
USBメモリを再生する	17
USBメモリに録音する	18

故障かなと思ったら	21
主な仕様	22
保証書とアフターサービス	23
製品保証書	裏表紙

安全上のご注意

火災や感電などによる人身事故を防ぐため、次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはアイワの相談窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはアイワの相談窓口にて修理を依頼してください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号



禁止 分解禁止 接触禁止 ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く 指示

危険



禁止

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑油などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

警告



禁止

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはアイワの相談窓口にてご相談ください。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはアイワの相談窓口にて交換をご依頼ください。



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止

海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、その後は触れないでください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



禁止

通風孔をふさがない

布をかけたり、壁などに密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



注意



分解禁止

分解・修理・改造はしない

感電・火災の原因となります。内部点検・調査及び修正はお買い上げ店またはアイワの相談窓口にご依頼ください。



プラグをコンセントから抜く

移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。



禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くとときにご注意ください。



禁止

幼児の手の届かない場所に置く

CDぶたなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



禁止

特定の状況下では、ワイヤレス機能を使用しない

本機はワイヤレス機能を内蔵しています。

以下の点に注意してご使用いただき、障害などが発生した場合には、本機のワイヤレス機能を使用しないようにしてください。

また、緊急の場合には、ただちに本機の電源を切ってください。

- 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは使用しない。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- 航空機の機内ではワイヤレス機能を使用しない。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。
- 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ただちに使用をやめる。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



指示

本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

電池(別売り)についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池(別売り)をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池

アルカリ、マンガン

危険 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、アイワの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

BLUETOOTH®機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、アイワの相談窓口までお問い合わせください。アイワの相談窓口については、製品保証書をご覧ください。

2.4 FH1 この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

使用上のご注意

録音について

- 録り直しの効かない録音の場合は、必ず事前に試し録りをしてください。
- 本機の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

- お客様が録音したものに著作物となるものが含まれている場合、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

音量について

- 音源の録音レベルの違いによりラジオ/CD再生時の音量と異なる場合があります。

CDについて

- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- Dual Discの再生はできません。

CD-R/CD-RWについて

- 本機は、CD-DAフォーマット*で記録されたCD-R（レコーダブル）およびCD-RW（リライタブル）ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

* CD-DAはCompact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。

著作権保護技術付き音楽ディスクについて

- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面（再生面）に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。

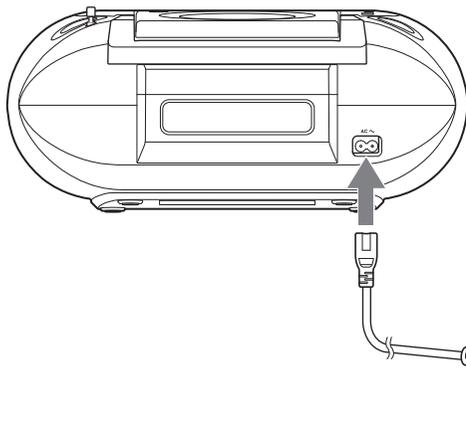
CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

まずはじめに

電源を準備する

コンセントに電源コードを接続する

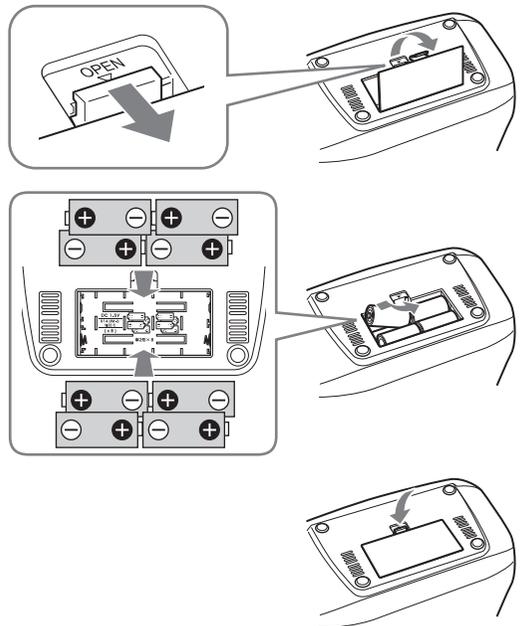


本体背面のAC IN端子へ
付属の電源コードを差し込み、
逆側を壁のコンセントへ
差し込みます。

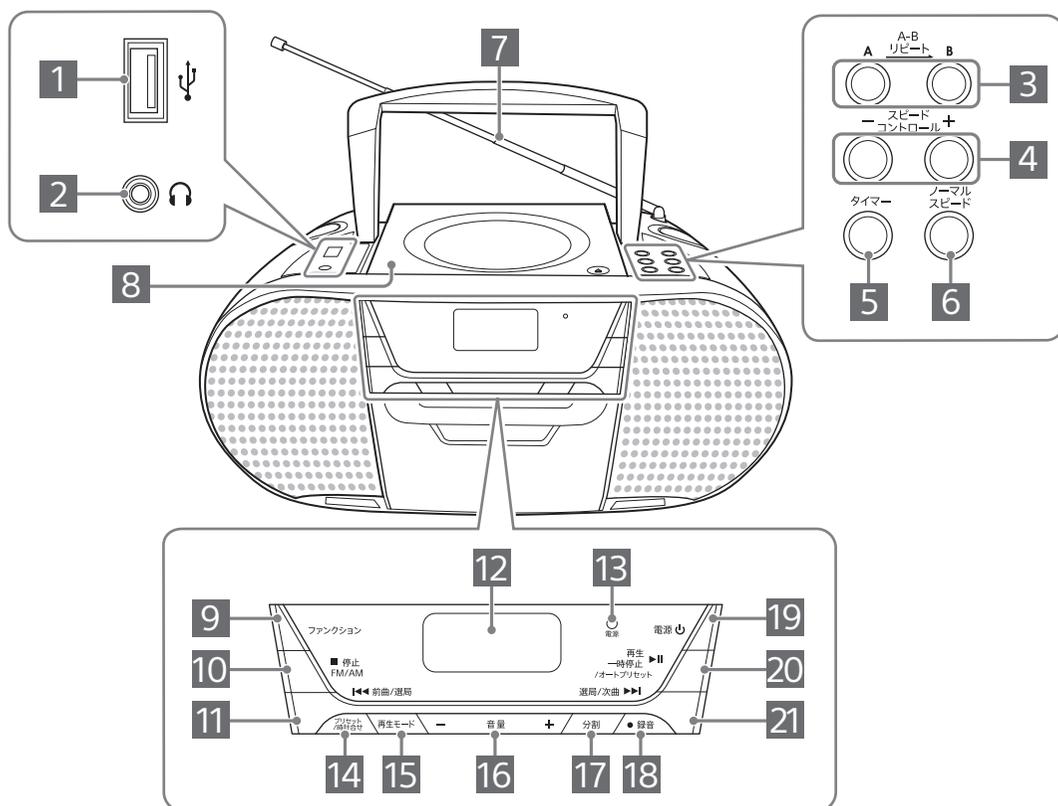
カバーを外して
プラグを壁のコンセントへ

乾電池(別売り)を使う場合

1. 本体底面の電池ふたのツメ(「OPEN ▼」の表示がある箇所)を押しながら開ける。
2. 単2形乾電池8本(別売り)を入れる。
必ず一側から、+と-を正しく入れてください。
3. 電池ふたをしっかりとめ込む。



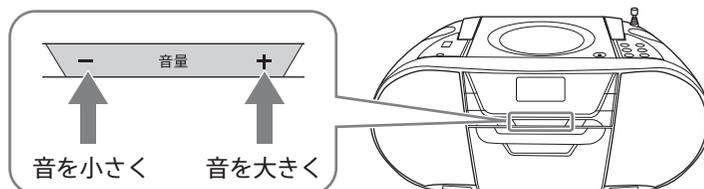
各部名称



- | | |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| 1 USBポート | 12 ディスプレイ |
| 2 ヘッドホン端子 | 13 電源ランプ |
| 3 A-Bリピートボタン | 14 プリセット/時計合わせボタン |
| 4 スピードコントロール+ボタン | 15 再生モードボタン |
| 5 タイマーボタン | 16 音量ボタン |
| 6 ノーマルスピードボタン | 17 分割ボタン |
| 7 FMアンテナ | 18 録音ボタン |
| 8 ディスクトレイ | 19 電源ボタン |
| 9 ファンクションボタン | 20 ▶ (再生/一時停止) / オートプリセットボタン |
| 10 ■ (停止) / FM/AMボタン | 21 ▶▶ (次曲) / 選局ボタン |
| 11 ◀◀ (前曲) / 選局ボタン | |

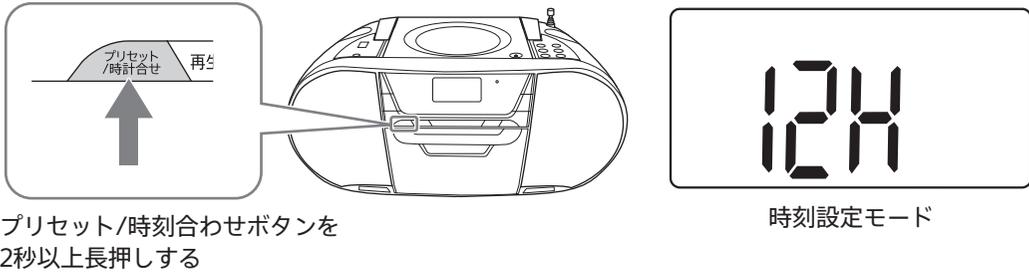
音量を調節するには

音量ボタンを押すと、音量を調節できます。



時刻を設定する

1. 電源オフ時にプリセット/時計合わせボタンを2秒以上長押しする。
「12H」または「24H」と表示され、時刻設定モードに入ります。



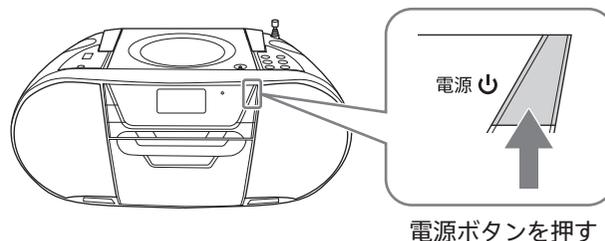
2. ▶▶ (次曲) / ◀◀ (前曲) ボタンを押して、表示形式を「24H」(24時間表示) または「12H」(AM/PM表示) で切り替える。
3. プリセット/時計合わせボタンを押す。
4. 手順2～3をくり返して、「時」と「分」を設定する。

注意

- 設定中に15秒間操作がない場合は、自動的に設定がキャンセルされます。

電源を入れる

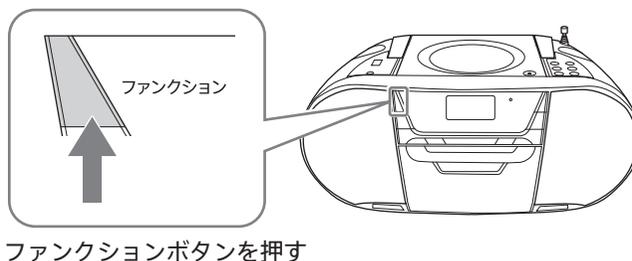
電源ボタンを押すと、ディスプレイのバックライトが点灯して電源オンになります。



電源ボタンをもう一度押すと、電源がオフ(待機状態：電源ランプが赤色に点灯)になります。

機能を切り替えるには

お買い上げ時の設定では、電源が入るとCD機能の画面が表示されます。
ファンクションボタンを押すと機能が切り替わります。





CD画面
(CD装着時)



USB画面
(USBメモリ接続時)



BLUETOOTH画面



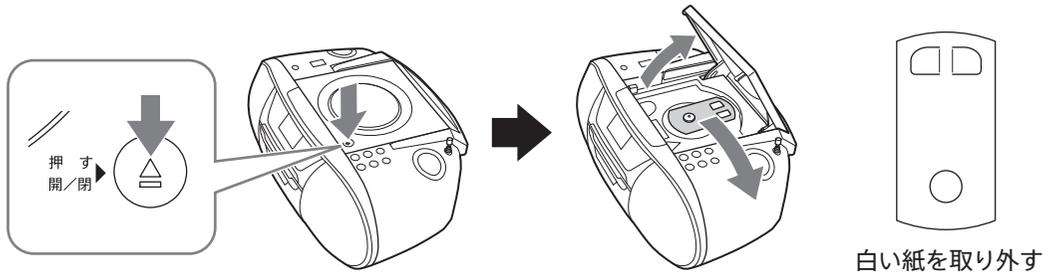
FM画面

CDを聞く

1. ▲ (開/閉) を押してディスクトレイを開ける。

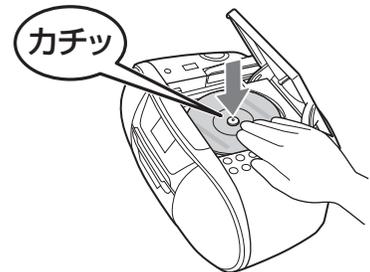
トレイは無理に大きく開けようとししないでください。トレイが破損するおそれがあります。ご使用前に、必ず白い紙を取り外してください。

- 取り外した紙は、破棄していただいてもさしつかえありません。



2. CDの印刷面を上にして、「カチッ」と音がするまで入れる。

CDはしっかりと装着してください。再生中にカラカラと音が鳴って、正常に作動しない場合があります。

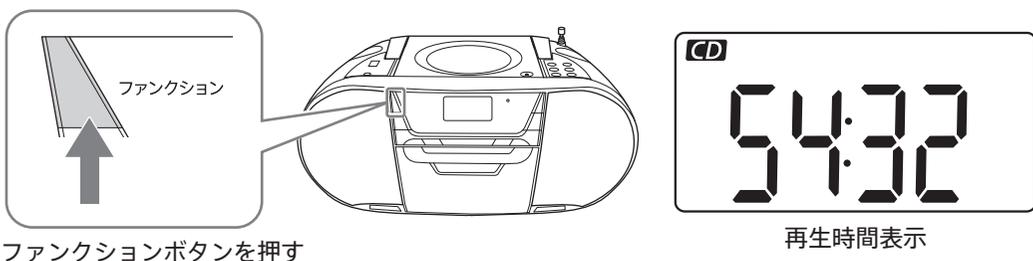


3. ディスクトレイを押して閉じる。



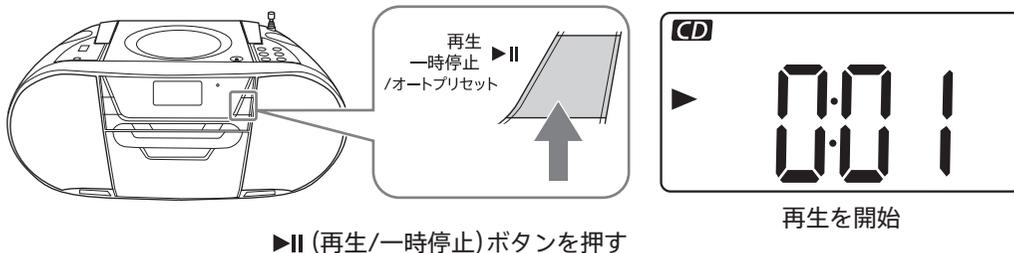
4. ファンクションボタンを押して「**CD**」に切り替える。

CDの読み込みが始まり、ディスプレイに再生時間が表示されます。



5. ▶|| (再生/一時停止) ボタンを押す。

1曲目から再生が始まります。

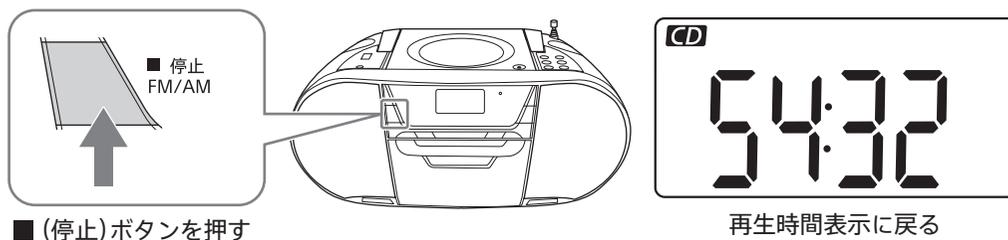


再生中に曲を一時停止するには

▶|| (再生/一時停止) ボタンを押します。一時停止中は▶が点滅します。
再生を再開するには、もう一度▶|| (再生/一時停止) ボタンを押します。

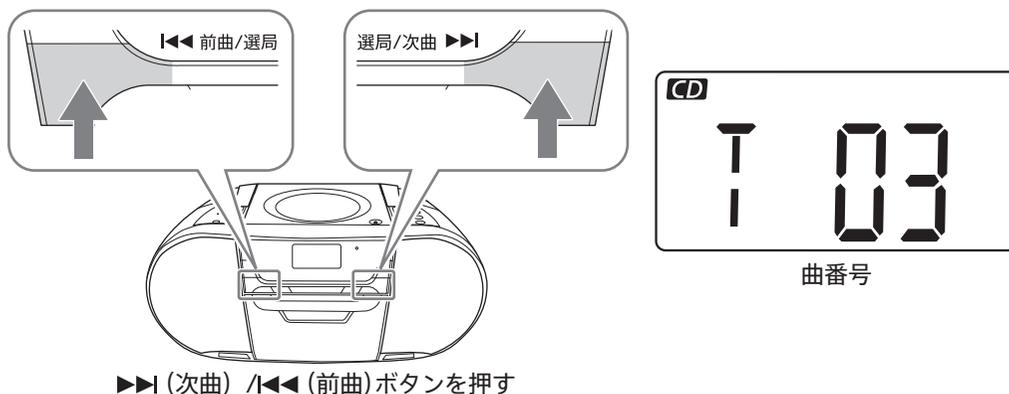
再生を停止するには

再生中に■ (停止) ボタンを押します。



曲を送る/戻すには

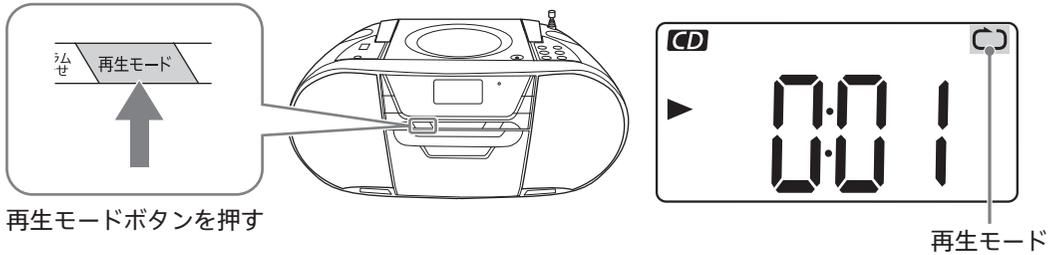
▶| (次曲) / |◀◀ (前曲) ボタンをくり返し押して、お好みの曲番号を選択します。
停止中に操作した場合は、▶|| (再生/一時停止) ボタンを押すと選択した曲からCDを再生します。



その他の方法でCDを聞く

リピート/ランダム再生をする

再生モードボタンを押すたびに、再生モードが以下のように切り替わります。



再生モードボタンを押す

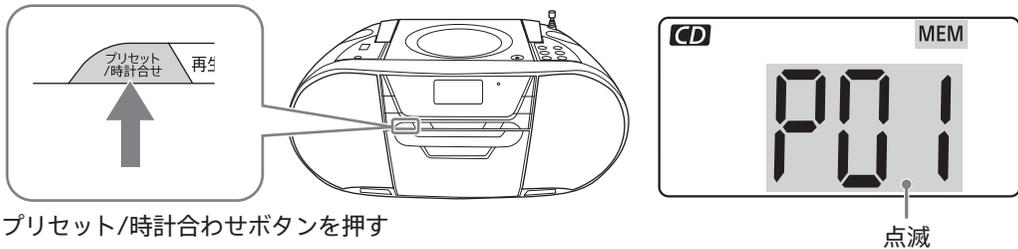
再生モード

再生モード	動作	ディスプレイ表示
1曲リピート	再生中の曲をリピートします。	Ⓞ (点滅)
全曲リピート	CD全体をリピートします。	Ⓞ (点灯)
ランダム	ランダムに再生します。	RAN
通常再生	通常の再生モードです。	(表示なし)

プログラム再生をする

1. プリセット/時計合わせボタンを押す。

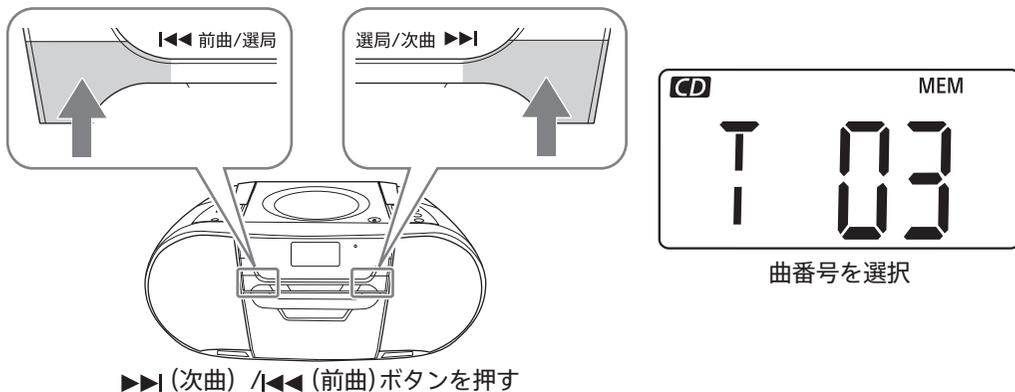
「P01」「MEM」が点滅し、プログラム設定モードに入ります。



プリセット/時計合わせボタンを押す

点滅

2. ▶▶ (次曲) / ◀◀ (前曲) ボタンを押して曲を選ぶ。



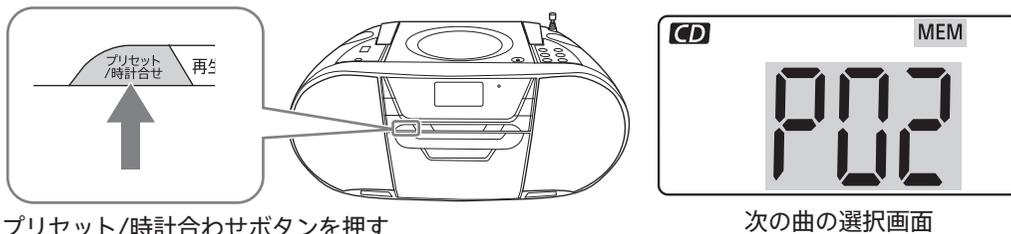
▶▶ (次曲) / ◀◀ (前曲) ボタンを押す

曲番号を選択

3. プリセット/時計合わせボタンを押す。

選択した曲がプログラムに設定され、次の曲を選択する画面になります。最大20曲まで設定できます。

続いてプログラムを設定するには、手順2～3をくり返します。



4. ▶|| (再生/一時停止) ボタンを押す。

プログラム再生モードに切り替わり、設定したプログラムの曲順でCDを再生します。

プログラム再生から通常再生に戻るには

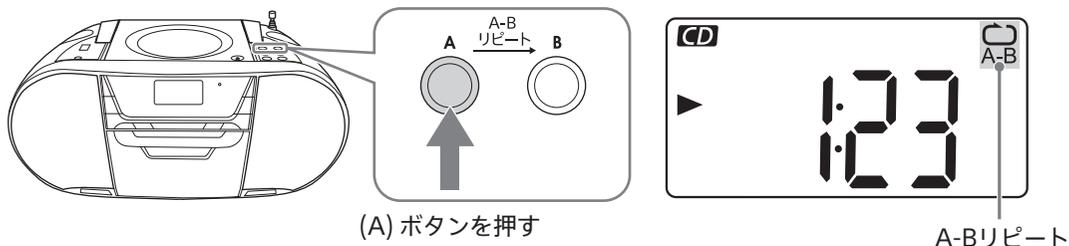
再生中に ■ (停止) ボタンを押すと、プログラム再生を停止します。

もう一度 ■ (停止) ボタンを押すと、プログラムが解除されます。

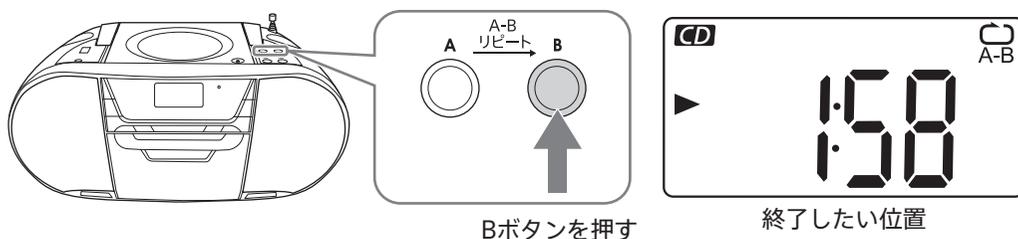
お好みの区間をリピートする(A-Bリピート)

お好みの区間をくり返し再生することができます。

1. 再生中に、リピートを開始したい位置でA-Bリピートボタン(A)を押す。
画面上に「 A-B」が点滅表示されます。



2. リピートを終了したい位置で、A-Bリピートボタン(B)を押す。
「 A-B」が点灯表示に変わり、指定した区間がくり返し再生されます。

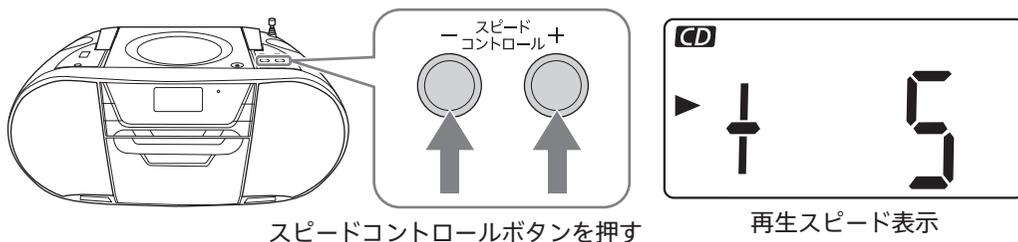


A-Bリピートを解除するには

再生中に  (再生/一時停止) ボタンを押します。
「 A-B」表示が消えて通常再生に戻ります。

再生速度を変更する

再生中に、スピードコントロール \pm ボタンを押します。

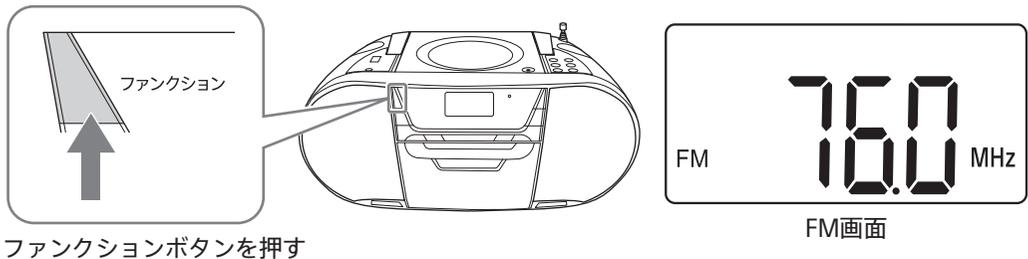


再生スピードは-5 (低速: 約0.5倍速) から+5 (高速: 約1.5倍速) まで11段階の設定ができます。
再生スピードを元に戻すには、ノーマルスピードボタンを押すか、スピードコントロール \pm ボタンで+0にします。

ラジオを聞く

1. ファンクションボタンを押して「FM」に切り替える。

AM放送を聞く場合は、FM/AMボタンを押して「AM」に切り替えます。

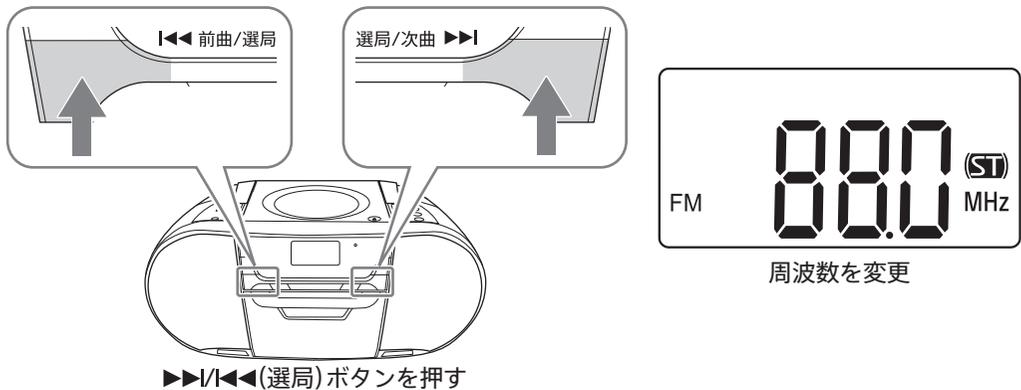


ファンクションボタンを押す

FM画面

2. ▶▶/◀◀ (選局) ボタンを押して周波数を変更し、放送局を選択する。

▶▶/◀◀ (選局) ボタンを2秒以上長押しして、自動的に放送局をスキャンすることもできます。



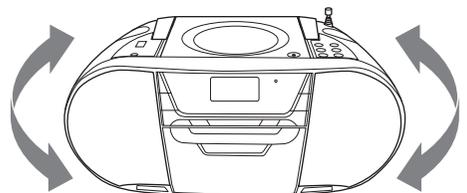
▶▶/◀◀(選局) ボタンを押す

周波数を変更

受信状態を良くするには

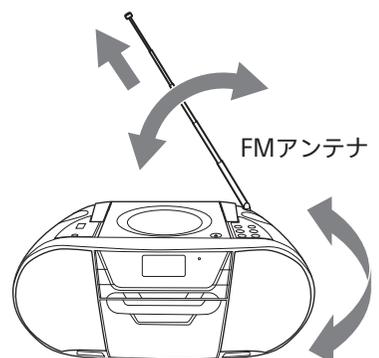
AM放送の場合

AMアンテナは本体に内蔵されています。
本機を動かして、受信状態が最も良い向きを探してください。
室内の場合、窓際の方が良く受信できます。
※FMアンテナを伸ばしてもAM放送の受信感度は向上しません。



FM放送の場合

FMアンテナを伸ばして、長さや方向、角度を変えて受信状態が最も良くなるように調節してください。
FMステレオ放送を良好な状態で受信すると、FMステレオランプが点灯します。



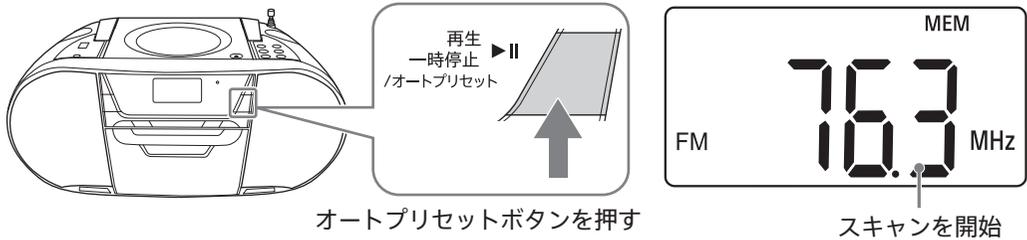
放送局を登録する

よく聞く放送局を登録できます (FM : 最大20局、AM : 最大10局)。

自動的に登録するには

オートプリセットボタンを1秒以上長押しします。

聞くことのできる放送局が自動的にスキャンされ、登録されます。



注意

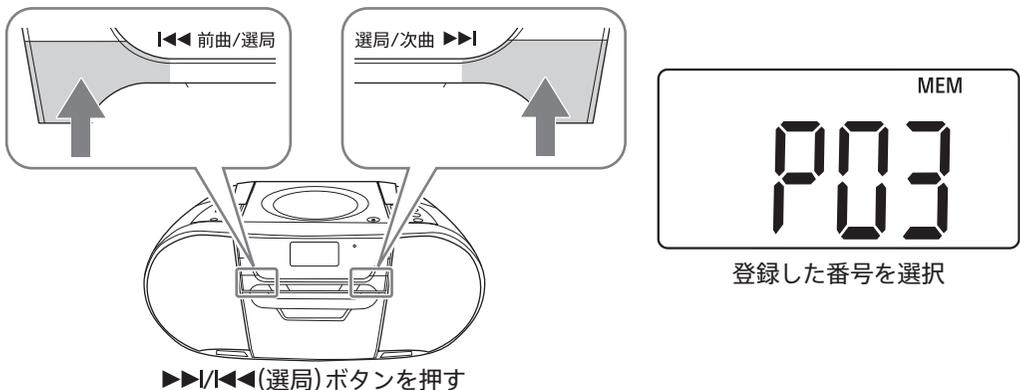
- オートプリセットでの登録番号を変更したい場合は、手動で登録してください。

手動で登録するには

1. 登録する放送局を選局する。
2. プリセット/時刻合わせボタンを2秒以上長押しする。
3. 「PXX」が点滅しているときに▶▶/◀◀ (選局) ボタンを押して、登録する番号を選択する。
4. プリセット/時刻合わせボタンを押す。

登録した放送局を選ぶには

1. プリセット/時計合わせボタンを押す。
2. ▶▶/◀◀ (選局) ボタンを押して、登録した番号を選択する。

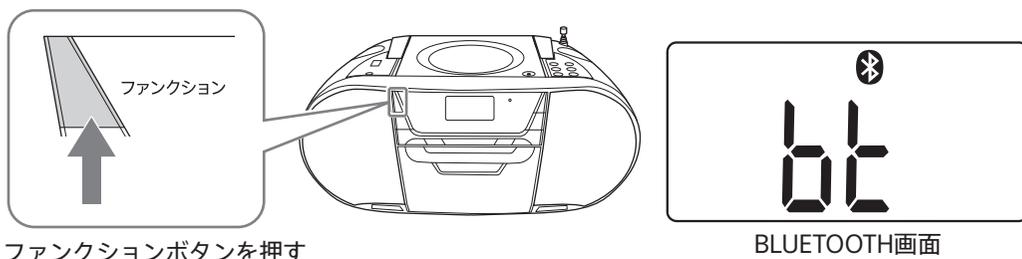


3. プリセット/時計合わせボタンを押す。

BLUETOOTH機器を再生する

1. ファンクションボタンを押して「bt」に切り替える。

Bluetoothマークが点滅し、本機がペアリングモードに切り替わります。



ファンクションボタンを押す

BLUETOOTH画面

2. BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能をオンにして、本機とペアリングする。

本機は「CR-BUE50」と表示されます。

ペアリングが完了するとBluetoothマークが点灯します。

一度ペアリングした機器は、本機がBLUETOOTHモードに入ると、自動でBLUETOOTH接続できます。

3. BLUETOOTH機器を操作して、曲を再生する。

本機の▶|| (再生/一時停止) ボタンを押しても再生できます。

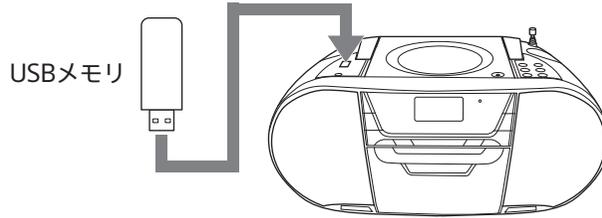
注意

- BLUETOOTH機器の詳しい操作は、機器の取扱説明書などをご覧ください。

USBメモリを再生する

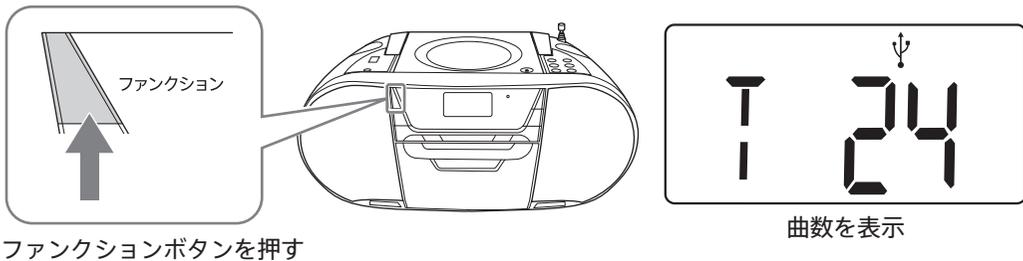
本機にUSBメモリを接続して、音声を本機のスピーカーから聞くことができます。

1. 本機のUSBポートにUSBメモリを接続する。



2. ファンクションボタンを押してUSB再生モードに切り替える。

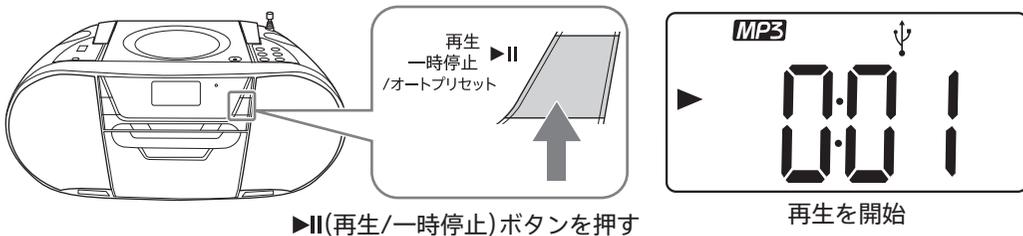
ψが点灯し、USBメモリ内の曲数が表示されます。



3. ▶|| (再生/一時停止) ボタンを押す。

再生が始まります。

一時停止するには ▶|| (再生/一時停止) ボタンを押します。一時停止中は ▶ が点滅します。
停止するには ■ (停止) ボタンを押します。



曲を送る/戻すには

▶▶ (次曲) / ◀◀ (前曲) ボタンをくり返し押して、お好みの曲番号を選択します。



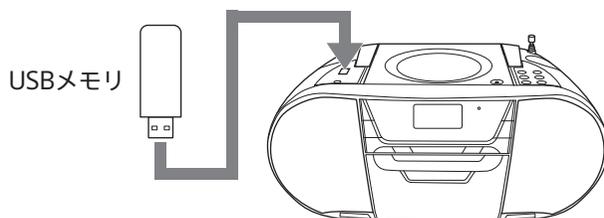
リピート/ランダム再生、プログラム再生、A-Bリピート、再生スピード変更を利用する

CD再生時と同様、リピート/ランダム再生、プログラム再生、A-Bリピート、再生スピード変更の機能を利用できます。

詳しくは「その他の方法でCDを聞く」(11ページ)の各項目をご参照ください。

USBメモリに録音する

CDやラジオ放送をUSBメモリに録音することができます。
あらかじめ本機にUSBメモリを接続しておいてください。



録音データのフォルダ/ファイルについて

録音したデータのフォルダ名とファイル名は以下の通りとなります。

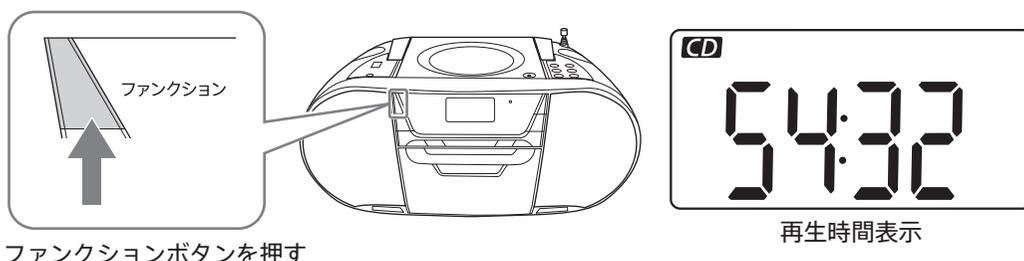
録音データの種類	フォルダ名	ファイル名
CD	RIP	TRK1、TRK2、… (数字はCDのトラック番号)
ラジオ	REC	REC1、REC2、…

注意

- 録音する際は、十分な空き容量があるUSBメモリを接続してください。
- 本機でUSBメモリ内のファイルなどを削除することはできません。削除したい場合はパソコンなど他機器を利用してください。
- 続けて別のCDを録音する際に、録音データのトラック番号が重複する場合は、新しく録音したファイル名の末尾に「～XX」が表示されます(例：TRK1～0、TRK1～1、…)。

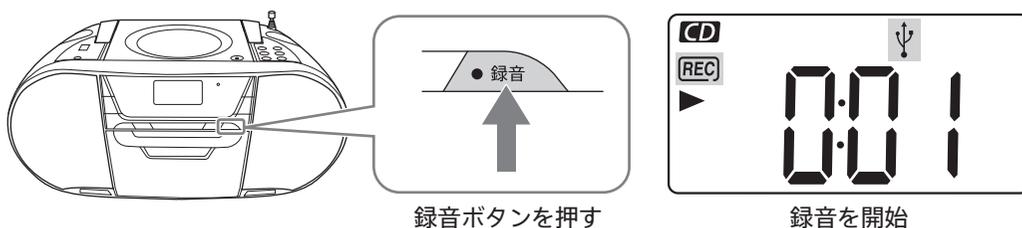
CDの曲を録音する

1. CDをディスクトレイに入れ、ファンクションボタンを押して「**CD**」に切り替える。
CDの読み込みが始まり、ディスプレイに再生時間が表示されます。



2. 録音ボタンを押す。

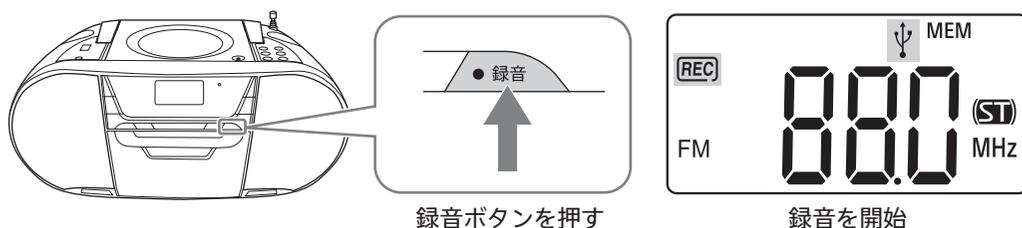
CD全体の録音が始まります。録音中は **REC** と ψ が点滅します。
録音を停止するには **■** (停止) ボタンを押します。



お好みの曲を選んで録音するには、録音したい曲の再生中に録音ボタンを押します。曲の再生が終わると録音が停止します。

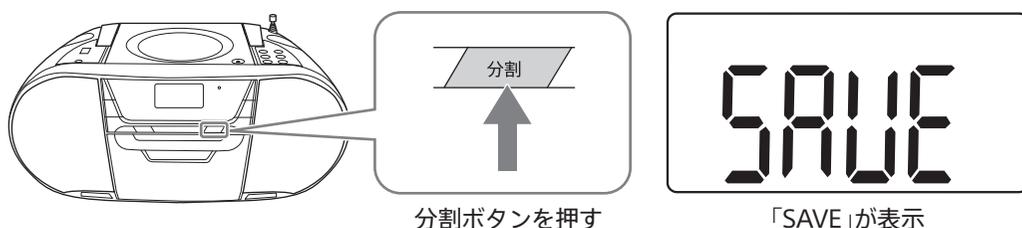
ラジオ放送を録音する

ファンクションボタンとFM/AMボタンを押してお好みの放送局を選択し、録音ボタンを押します。
録音中は **REC** と ψ が点滅します。
録音を停止するには **■** (停止) ボタンを押します。



ラジオの録音中にトラックを分割するには

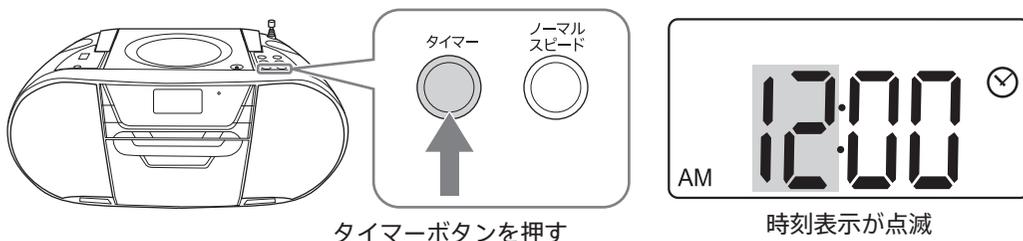
録音中に分割ボタンを押すと、ディスプレイに「SAVE」が表示され、トラックが分割されます。



ラジオ放送をタイマーで録音する

タイマー機能を利用して、ラジオ放送をUSBメモリに録音することができます。

1. 録音したい放送局を選局してから、電源をオフにする。
2. ディスプレイの時刻表示が点滅するまでタイマーボタンを長押しする。



3. ▶▶ (次曲) / ◀◀ (前曲) ボタンで「時」を設定する。
4. タイマーボタンを押す。
5. 手順3～4をくり返して、「分」を設定する。

タイマーが設定されると、ディスプレイに ⊙ が表示されます。



設定した時刻になると自動的に電源がオンになり、録音が始まります。
録音を停止するには ■ (停止) ボタンを押します。

注意

- 設定中に15秒間操作がない場合は、自動的に設定がキャンセルされます。

タイマーを解除するには

電源オフ状態でタイマーボタンを押すたびに、タイマーのオン/オフ (⊙ 表示あり/なし) が切り替わります。

故障かなと思ったら

症 状	ご確認ください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ➔電源コードがAC IN端子とコンセントにしっかりと差し込まれていますか。 ➔乾電池で使う場合、乾電池が正しく入っていますか。 ➔乾電池で使う場合、乾電池が消耗していませんか。 ➔乾電池で使う場合、電源コードをAC IN端子から抜いていますか。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ➔ファンクションボタンで正しい音源を選択していますか。 ➔ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。 ➔音量が最小になっていませんか。 ➔CDやUSBメモリの再生が一時停止状態になっていませんか。
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> ➔近くで携帯電話など電波を発するものを使用していませんか。 ➔テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか。雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画面が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
CDやUSBメモリの再生が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> ➔ディスクトレイのふたが閉まっていますか。 ➔CDの文字のある面を上にしてありますか。 ➔CDまたはレンズがひどく汚れていませんか。 ➔規格外のディスクが入っていませんか。 ➔ファンクションボタンで正しい音源を選択していますか。 ➔USBメモリの場合、本機で再生できるファイル形式ですか。 ➔USBメモリの場合、正しく接続されていますか。また本機に対応しているUSBメモリを使用していますか。
CDの音が飛ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ➔結露状態になっていませんか。 ➔レンズがひどく汚れていませんか。 ➔強い振動を与えていませんか。 ➔CDに大きなキズやひどい汚れはありませんか。 ➔布団の上など、不安定な場所に置いていませんか。
CDを入れても「NoCd」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> ➔CDの文字のある面を上にしてありますか。 ➔CDが汚れていませんか。 ➔CD-R、CD-RWを再生する場合、CDがファイナライズ処理されていますか。
録音ができない	<ul style="list-style-type: none"> ➔USBメモリが正しく接続されていますか。 ➔本機に対応しているUSBメモリを使用していますか。
ペアリング(機器登録)できない 本機とBLUETOOTH機器を接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ➔本機とBLUETOOTH機器の距離を1m以内に近づけてください。 ➔本機のファンクションボタンを押してBLUETOOTHモードに切り替えてください。 ➔BLUETOOTH機器側の接続機器一覧から本機を一度削除し、もう一度ペアリングしなおしてください。
それでも解決しない時は…	<ul style="list-style-type: none"> ➔アイワの相談窓口にご相談ください。

主な仕様

CDプレーヤー部	チャンネル数	2チャンネルステレオ	
	サンプリング周波数	44.1 kHz	
	再生可能ディスク	音楽CD、CD-R/RW (CD-DAフォーマット記録ディスク)	
ラジオ部	受信周波数	FM : 76 ~ 108 MHz (0.1 MHzステップ) ワイドFM対応 AM : 522 ~ 1629 kHz (9 kHzステップ)	
	Bluetooth部	バージョン Ver. 5.0 対応プロファイル A2DP 対応コーデック SBC	
USB部	対応メディア	最大32 GB (FAT16/FAT32)	
	再生/録音フォーマット	再生 : MP3、録音 : MP3 (128 kbps)	
共通部	電源	家庭用電源 (AC 100 V 50/60 Hz) 単2形乾電池8個使用 (DC 12 V) (別売り)	
	電池持続時間* ¹	(アルカリ乾電池使用時) CD再生時 : 約6時間、FM受信時 : 約9時間	
	スピーカー	1.5 W×2	
	ヘッドホン出力端子	3.5 Φステレオミニ	
	消費電力	16 W	
	最大外形寸法	340 mm (幅)×152 mm (高さ)×227 mm (奥行)	
	質量	約2.1 kg (乾電池含まず)	
		* ¹ JEITA規格による測定値	
	同梱品	本体 (1)	
		電源コード (1)	
取扱説明書/保証書 (本書)			

商標について

- BLUETOOTHワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, INC.の所有です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも調子が悪いときは

アイワの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は

製品保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは製品保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

製品保証書

持込修理

品名	CDラジオデジタルレコーダー
型名	CR-BUE50
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げの日から 1年

本書は、下記記載内容で無料修理を行う事をお約束するものです。お買い上げ日から上記期間中に故障が発生した場合は、ご記入の上、修理をお申し付けください。

●本書は再発行しませんので大切に保管ください。

お客様		様
ご住所	〒□□□-□□□□	電話 - -

●ご販売店様へ

お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ、保証書はお客様へお渡しください。

販売店	
-----	--

商品、操作方法やトラブルに関するご相談、お問い合わせ

アイワお客様ご相談窓口：0570-062-312

修理のご依頼及び部品、修理品に関するお問い合わせ

アイワ修理ご相談窓口：0570-000-271

受付時間：平日9時～17時（土日、祝祭日、長期連休を除く）

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合があります。

ホームページ：http://www.jp-aiwa.com

アイワ株式会社 東京都品川区東五反田1丁目6番地 0022

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品が故障した場合には、本書に記載の修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別（持込修理）をご確認の上、以下の要領でご依頼及び本書の提示・提出をお願いいたします。
なお、受付窓口の種類は、お買い上げの販売店によって異なります。

種別	保証書の提示・提出
持込修理	持参した製品と一緒に提示

送料はお客様のご負担となりますのでご了承ください。

2. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。
 - (1) 本書の提示が無い場合。
 - (2) 本書にお買い上げ日・お客様名・型名等の記載が不明または字句を書き換えられた場合。
 - (3) 保証期間中に発生した故障について保証期間終了後に発生したとされた場合。
 - (4) 使用上の誤り（取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常な使用をしなかった場合を含む）による故障・損傷。
 - (5) お買い上げ後の輸送、落下などによる破損・損傷。
 - (6) 火災・地震・風水害・落雷・その他天災・人為的災害・異常電圧などによる故障・損傷。
 - (7) 一般家庭用以外（業務用など）に使用された場合による故障・損傷。
 - (8) 他の機器から受けた障害または不当な修理、改造などによる故障・損傷。
 - (9) 消耗・摩耗した部品の交換・劣化した部分の交換。
3. 故障の状況その他事情により修理に変える部品を交換する場合がありますのでご了承ください。
4. 修理に際して再生部品・交換部品を有償で提供いたします。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ、適切に処理・処分させていただきます。
5. 本書に基づく無料修理（製品交換）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
6. 故障により本製品を使用できなかったことによる損害については保証致しません。
7. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障・修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての保証はいたしません。
8. 本書は日本国内のみで有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

修理メモ

--

- 本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理につきましては、取扱説明書等をご覧ください。